

ディズニー、行くなら「ランド」より「シー」?

～ 高齢化、大人の憩いの場に ～

オリエンタルランドが運営する東京ディズニーシー（TDS、千葉県浦安市）が2016年で開業15周年を迎えました。1日の入場者数が東京ディズニーランド（TDL）を上回る日もあり、TDSが好調です。リピーターの増加や少子高齢化が進むなか、アトラクション巡りにこだわらず、お酒を飲んで生演奏やショーを楽しむなど来訪者の過ごし方も変わりつつあるようです。

オリエンタルランドは2016年4月以降、入場者数は日によってTDSがTDLを上回っています。このような状況はこれまで、ほとんどなかったということです。

2016年7月に始めた25分のミュージカルショー「アウト・オブ・シャドウランド」は3世代が楽しめる内容で、大会場の全席がほぼ埋め尽くされています。

そもそもTDS人気に拍車をかけたアトラクションが、2012年7月に約115億円かけて投入したライド型シューティングアトラクション「トイ・ストーリー・マニア！」でした。9月上旬の平日午前待ち時間が110分とTDLの3大ジェットコースターも上回る待ち時間でした。

今TDLとTDSの来場者数の約9割がリピーターです。TDLも含め入場者数に占める40歳以上の割合が15年度はその前年度より0.3ポイント増の20.7%でしたTDSだけみれば、もっと高いことが推測されます。滞在時間は9時間を超えており、かつては人気のアトラクションを制覇することにこだわっていた人も、回を重ねるにつれ時間の使い方が賢くなり、非日常的な雰囲気の中でのんびり過ごす人が目立つようになってきました。オリエンタルランドも滞在型リゾートを意識し快適に過ごしてもらう対策に力を入れています。

海がテーマのディズニーテーマパークは日本にしかありません。6月の上海ディズニーランド開業を機にアジアでディズニーテーマパークの注目度が上がれば、訪日外国人の増加も見込めるなどTDSの重要性が増しています。

近年の東京ディズニーシーの主な新アトラクション・ショー

時期	投資額	特徴
2015年3月	約25億円	中心エリアの港を模した広場のショー鑑賞エリアを刷新
4月	約40億円	映画「リトル・マーメイド」の世界が舞台のミュージカルショー「キング・トリトンのコンサート」を始める
16年4月	-	15周年記念イベント「ザ・イヤード・オブ・ウィッシュ」を開始
7月	約35億円	ミュージカルショー「アウト・オブ・シャドウランド」を開始
17年春	約50億円	映画「ファインディング・ニモ」のアトラクション「ニモ&フレンズ・シーライダー」を導入
	-	「ファインディング・ニモ」に登場するウミガメのクラッシュとの会話を楽しむ「タートル・トーク」に新キャラクター登場
19年度	約180億円	シミュレータータイプのライドアトラクション。海外のディズニー・テーマパークで人気

